

## 市民農園について



山口 泰弘 議員

現在、食の安全に関心が高まったことから、市民農園が注目されていますが、農家にとっても農園の利用料が農作物以外の収入源となり、新たな農業形態として期待されています。

今後は、農家自らが経営する市民農園の開設を促進することが必要であり、利用したい市民と利用者を募りたい農園を結びつける仕組みづくりが求められます。

そこで、市が開設している市民農園について、現在の利用状況と、今後、市がどのように市民農園を推進していくかを伺います。

### ○環境経済部長

市が運営する市民農園は、市内に5カ所開設されており、381区画あります。平成20年度は366人、平成21年度は381人、平成22年度は現在378人の方が利用しています。



市民農園

民間の市民農園が多数開設されていることも含め、行政が行うモデル事業として一定の成果を得たことから、今後は民間経営を推進することが最善であると考えます。

移行に伴う支援策として、広報かすかべやホームページで開設者の情報を閲覧できるように、市民農園登録制度の整備を進めます。

また、技術や運営に関する相談・指導を、関係機関とともに取り組んでいきます。

### このほか

○都市計画道路上野長宮線の進捗状況について

## 春日部市の農業政策について



川鍋 秀雄 議員

本市では、米や果樹、野菜、畜産など、多種多様な農業生産が営まれています。しかし、残念なことに、市内産の安全で安心な農産物の魅力が十分に浸透しているとはいえず、

市内農産物の消費拡大を図れば、市のイメージアップや地域活性化につながると考えますが、いかがでしょうか。

また、昨年の政権交代により、国が農業の大転換の1つとして始めた戸別所得補償モデル事業や、農地関連法が改正されるなど、農業者に対する状況が目まぐるしく変わっています。

こうした変化に対応するためには、市や農協等の関係機関単独では対応が困難と考えます。農業関係機関が横断的に対応することができ、農業公社の設立を検討する必要があると考えますが、市の考えを伺います。

### ○環境経済部長

市内で作られた農産物の消

費拡大のため、今年度から食品紹介事業を実施しました。また、ぶらっとかすかべを活用して、市内産の農産物のPR活動や販売を実施しました。今後も、市内農産物の生産拡大や消費拡大に取り組みます。

また、農業公社については、今後の本市の農業経営の安定化を図る上で、十分な調査が必要であると認識しています。

### このほか

○浸水対策について

○南桜井駅周辺整備事業の進捗状況及び踏切の安全対策

○県道松伏春日部関宿線の整備状況について

## 市内に障害者入所施設を



今尾 安徳 議員

障害者自立支援法では受益者負担制度が導入され、施設に通う人々の負担が増えています。親亡き後も、障がいを持つ子が人間らしく安心して暮らせる場、1人になっても社会で生きていける場、それが入所施設ではないかと私は思います。

障がい者の入所施設が市内にないために、県外の23施設に34人、県内の74施設に196人、合計230人が市外の施設に入所しています。平成17年には2万6000人を超える「入所施設建設を求め署名」が提出されました。

市内に一刻も早く入所施設を建設することが、真に障害者福祉の充実につながると考えますが、いかがでしょうか。

### ○福祉健康部長

多くの方からの署名を真摯に受け止め、入所施設の整備について、障害者計画に定め

市の財政状況を考えると、市が入所施設の整備を行うことは難しいと考えますが、障害者計画及び障害福祉計画に基づき、春日部市自立支援協議会の意見を踏まえた中で、障害者福祉施策を推進していきたいと考えています。

### ○市長

国で障害者制度改革の議論を行っているため、その動向を注視していきます。

### このほか

○子どものために学童保育の充実を

○子どもが生き生き遊べるプレーパークの設置を

## 春日部駅東西 自由通路を早急に



卯月 武彦 議員

円滑化を図ることができません。また、東西一体化、高架下の利用等、まちづくりの可能性が広がります。橋上駅では、これらの効果は非常に限定的であり、市の発展を目指す上では連続立体交差事業が最良の手法であると考えます。

### ○都市整備部長

通り抜けの実証実験については、国、東武鉄道と協議を進め、方法の合意を得て、行いたいと考えています。

### このほか

○高齢者宅配給食の充実を

○学校修繕のために十分な予算確保を

春日部駅には東西自由通路がないことで、市民は大変な不便を被っています。鉄道高架が完成するまで、工事が始まってから10年とこのことです。が、工事開始も分ならず、高架化まで待てないというのが市民の思いです。大宮駅のような橋上駅にし、袋陣屋線を立体交差化すれば、費用も少なく、期間も短く、駅直近への車の流入も少なくなり、駅周辺の発展にもつながると思います。が、いかがでしょうか。

また、今すぐに実現可能なものとして、市の負担で入場券に代わる無料の通行券を発行し、駅構内を通り抜けできるようにすべきと考えます。

今後、東西通り抜けについて、実証実験が行われるそうですが、具体的な内容を伺います。

### ○鉄道高架担当部長

連続立体交差事業の効果は、開かずの踏切を一举に除却することで、交通安全の向上、



春日部駅東口

## 中心市街地について



栄 寛美 議員

24万都市の顔である春日部駅周辺の中心市街地の活性化として、春日部駅付近連続立体交差事業を中心にハード面ソフト面からさまざまな事業が行われています。人が通過するのではなく、とどまってもらえる環境づくりの観点から伺います。春日部駅東口周辺地域では、植木の代わりにベンチが設置されました。普段見慣れている街中に人が座っているだけで、優しく、にぎわっているように感じます。

また、春日部駅東口都市近代化推進協議会では、誰もが気軽に休憩できるスペースを確保する取り組みを始めています。このような動きに合わせて、にぎわいを演出するためにベンチを設置してはいかがでしょうかでしょうか。ベンチの設置には、寄贈を募るなど、予算を掛けずに、企業の広告や市民からのメッセージ入りとしてはいかがでしょうか。

### ○鉄道高架担当部長

にぎわいを演出するためのベンチの設置は、人が滞留する拠点や歩行者の動線上の休憩施設としての心配りとして、大事な考え方であると認識しています。市民活動を含め、関係各課のソフト事業等と連携し、にぎわいをより効果的に創出できるよう努めます。

また、寄贈等によるベンチの設置は、先進事例を調査研究していきます。

### このほか

○コミュニティサイクルの実証実験について

○ムクドリ対策について

## 介護保険 情報誌について



武 幹也 議員

介護保険情報誌は、介護保険の利用の始め方や、サービスや事業者を選ぶために欠かせない情報等を提供し、事業者選択の参考になるガイドブックです。現在、介護保険情報誌は、東京23区中で22区が実施し、横浜市などでも発行を予定している状況です。

この情報誌は、1年に1回の発行が可能のため、介護保険制度の3年ごとの見直しについても対応が可能です。ゼロ予算事業として、広告主の広告料だけで編集発行費用を賄う介護保険情報誌を発行してはいかがでしょうか。

さらに、地域の介護事業者が広告主となって協賛していただくため、地域密着型の介護保険情報誌を、ケアマネ会の協力を得て発行してはいかがでしょうか。

### ○健康保険担当部長

本市においても、適切な情報提供を、予算を掛けずに行えることから、現在、介護保険情報誌の発行の準備に入っている状況です。

なお、発行に当たっては、介護支援専門員、ケアマネジャーで組織する春日部ケアマネ会の協力を得ながら、市が監修をしていきます。12月の発行を予定し、その後は毎年、新事業所などを修正し、年版として発行する予定です。

### このほか

○増え続ける国民健康保険、後期高齢者医療制度の医療費負担について

○図書館、公民館の新聞、雑誌スポンサー制度について



## 市内小中事業者の 受注機会の確保について



蛭間 靖造  
議員

公共工事の発注等を一般競争入札で行う場合、多くの業者が殺到し、落札価格が原価割れぎりぎりの価格で受注することがあります。地場産業の育成を図るため、適正な価格での発注が必要と考えます。

不況期には、民間に任せるだけでは労働資源の有効利用が難しく、労働資源を有効に活用するために公共投資を行い、地元の社会資本の整備が必要と考えます。

地域経済の根幹にある市内業者への受注機会の拡大と、過当競争や低価格入札の防止策について伺います。

### ○総務部長

経験、資格、特別な施工能力が必要な場合には、履行性の確保のため市外業者の参加を認めますが、市内業者で施工可能な場合、競争性と公正性を確保しながら市内業者へ発注をしています。また、大規模かつ技術的な難易度が高

い案件でも、積極的に共同企業体を導入し、市内業者の受注機会を確保しています。

また、履行性の確保から、変動型最低制限価格を採用し、市場価格と乖離した価格での落札を排除しています。これらの制度を活用し、市内業者の育成に努めています。

### ○市長

市内業者の受注拡大は、地場産業の育成に重要です。市内経済の活性化のため、受注の拡大を積極的に推進します。

### このほか

○バス路線の拡充について

## 冠水地区解消に向けた 身近な社会資本の整備



矢島 章好  
議員

総合振興計画の中で、国や

県と協力しながら河川改修を進め、治水対策に取り組みとあります。現在、県管理の会之堀川の改修工事を進めています。浸水被害地域の住民の方々は完成を心待ちにしています。河川改修後は放流量も増加でき、ポンプ等の整備

により、浸水被害の軽減が図れるためです。

市内各所において浸水被害が発生していますが、地域ごとに調査分析し、被害軽減に向けた取り組みが必要と考えますが対策を伺います。

### ○建設部長

浸水被害の解消にはポンプ場等の整備が必要ですが、下流域の河川が未整備のままポンプの増設等で強制排水を行うと、河川がはらんするたため放流量に制限があります。

会之堀川の改修状況を確認した結果、新方川との合流地点より上流の750メートルを整備中との回答でした。

また、新方川のボトルネットク解消のため、国土交通省が戸井橋の架け替えを行い、完成後に会之堀川との合流地点を護岸工事予定で、整備後は河川断面が拡幅され、流化能力も向上して、浸水被害の軽減・解消を期待できます。

今後も費用対効果を考慮し、国や県との整合を図りながら、ポンプ場等の整備をして、浸水被害の軽減に努めます。

### このほか

○住民参加型のまちづくり

○教育環境が充実したまちづくり

## 文化財の活用と ブランド化について



佐藤 一  
議員

地域に根付く文化財は、地域住民にとって大変貴重です。多くの歴史を持つ本市の文化財を、春日部ブランドの構築に活用することが文化財の有効活用になります。

本市では、平成22年度から春日部ブランド担当を設置し、ブランド向上を推進していますが、春日部ブランドを構築する上で観光名所や文化財の活用方法を伺います。

また、情報化社会が進展する中、文化財や歴史的な資料等の情報発信のため、ユビキタスの活用について伺います。

### ○総合政策部長

本市には、牛島のフジ、日本一の大凧、首都圏外郭放水路等、全国に誇れる文化財や名所が多くあります。これらを大切な地域資源として守り続け、広く多くの方に知っていただく必要があります。

今後、本市の歴史や文化財等についての情報発信や関連

施策の実施により、本市の地域価値を高め、多くの方が行ってみたい、住んでみたいと思っただけできるよう努めます。

また、誰もがコンピュータネットワークの恩恵を受けられるシステムとしてユビキタスがあります。観光情報のページに文化財等の写真と説明を掲載し、ルート検索機能も備えて、本市を初めて訪れた方にも分かりやすく市の魅力を提供します。

### このほか

○発達障害とその対応について



小淵山観音院仁王門

## 中学校区に1カ所 「コミュニティセンター」の設置を



片山いく子  
議員

子育て支援や高齢者の見守りなどに対して、今、地域のつながりが重要であるという認識が深まってきています。

政府でも、行政が担ってきた分野を民間や地域社会が担っていくため、「新しい公共」のあり方について議論を進めていると伺っています。

新しい公共を担っていくための市民活動を、本市でも充実させていくためには、各地域で市民が自由な活動のできる場が、今、求められているのではないのでしょうか。

中学校区に1カ所、住民が管理するコミュニティセンターを、公民館などの既存施設を活用して設置することはできないか伺います。

### ○市民部長

現在、地域社会では、子育て支援や高齢者の見守り、防犯、災害時の対応、環境問題など、多種多様なニーズや課題を抱えています。こうした

課題については行政だけでなく、それぞれの地域で市民の皆さまに自主的に取り組んでいただくことが必要となつてきていると考えています。

平成23年に開設予定の市民活動センターが、地域コミュニティの活性化の支援もできるよう、当面、安定的な運営に全力を傾けますが、各地域に拠点が必要となるであろうという点も、考えておかなければならないと思っています。

### このほか

- 子育て支援について
- 高齢者福祉について
- 各種まちづくり計画

## 「春日部市民ラジオ体操の日」と「ラジオ体操のまち都市宣言」の制定を提案する



大山利夫  
議員

市民の体力向上と健康保持のため、運動の基礎となるラジオ体操の普及は、有効な方法であると考えます。

毎月1日をラジオ体操の日と定め普及を図ることや、市役所前でラジオ体操を行ったなどの要望もあります。

市としても、学校や市民の

皆さまに、ラジオ体操を普及するようにしてはいいかがかと思えます。

そこで、学校や市民に普及するための方策について、市の考えを伺います。

### ○社会教育部長

ラジオ体操の日については、ラジオ体操連盟が独自に普及活動として定めることが効果的であり、教育委員会としても協力をしてまいります。

また、「市民ラジオ体操の集い」の実施会場については、安全かつ最適な場所での実施できるよう調整してまいります。

### ○市長

ラジオ体操連盟が独自に制定し、市が積極的に協力、支援していくことが望ましいと考えます。

### このほか

- 家読と子ども司書養成講座の進捗と「家族読書条例」の制定を提案する
- 「子育て便利帳」の作成と「暮らしの便利帳」の改版を提案する
- 「ひきこもり対策」の提案
- 「指さし会話カード」と「ガンバレ消防団応援事業所」制度の導入について
- 春バス新路線の提案とデマンドバス等の導入について

## 古利根川整備について



岩谷一弘  
議員

古利根川水辺再生100プラン推進事業につきまして、以下質問いたします。

- ①公園橋エリアの整備について
- ②八幡橋から藤塚橋までの整備について
- ③桜並木整備について
- ④鉄道高架担当部長

公園橋下流右岸に、川を眺めたりすることができ階段護岸や張り出しテラスが、さらに公園橋から八幡橋まで、幅員約2メートルの遊歩道が計画されています。

春日橋交差点の歩行者の安全対策については、橋付近の構造を調査し、県に提案、協議します。

### ○建設部長

八幡橋から藤塚橋までの区間については、エンゼルドーム前の河川用地に、遊歩道利用者への憩いの場とするポケットパーク等の整備が計画されています。内容はベンチの設

置、遊歩道整備、低木の植栽などを行う予定です。新しくトイレを設置する計画はありませんが、将来的には利用状況などを調査しながら検討したいと考えています。

議員ご提案の、たくさんの方が腰掛けられるベンチの設置については、改めて県と協議を行ってまいります。

桜などの植樹が可能であるかについても、県とともに再検討していきたいと考えています。

### このほか

- 市職員の人材育成について
- アウトソーシングについて



古利根川



廃棄物処理  
事業について



金子 進 議員

廃棄物の処理は、市民生活

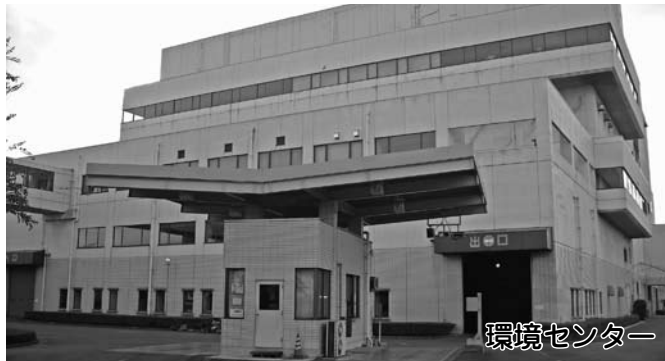
に大きな影響を及ぼす重大な行政事務です。ごみ処理施設が稼働停止等に陥った場合に、市民生活に影響を及ぼさないよう、運転管理の業務委託には設備のメンテナンスや故障時の対応、さらに危機管理に對する対応などを考慮する必要があるとあります。契約相手方の選定には、現場を把握していることなどの総合的な評価を行う必要があると考えます。

なお、受託者の変更が生じた場合でも、施設の安定した運営管理が行えるような体制づくりも求められます。

また、ごみ処理施設では、運転管理業務以外にも多くの案件を発注しています。地域活性化のためにも、市内業者に対して多くの発注機会を設け、活用するべきだと考えますが、市の考えを伺います。

○環境経済部長

ごみ処理施設の運転管理は、



環境センター

透明性及び競争性の確保、さらに公平性の確保を図るために、制限付一般競争入札による契約を行っています。今後も市民生活に混乱や影響を及ぼすことのないよう、価格以外の評価についても総合的な判断を行えるよう検討の上、対応を図ります。

また、運営管理を継続的に遂行できるよう、組織のあり方を協議していきます。

市内業者の活用については、地域の活性化を目的として、受注機会をできるだけ増やすという市の方針に沿って進めていきます。

今定例会の日程

8月23日

開会、議案第61号から議案第86号までの上程・説明

8月26・27・30・31日

議案に対する質疑

9月2・3日

常任委員会

9月7・8・10日

一般質問

9月14日

一般質問、議会基本条例策定特別委員会

9月15日

一般質問

9月17日

常任委員長報告とそれに対する質疑、各議案に対する討論・採決、議員提出議案の上程・説明・質疑・討論  
採決、議会基本条例策定特別委員長中間報告、閉会

閉会中の委員会活動

▽議会運営委員会

8月18日

平成22年9月定例会運営について

▽議会基本条例策定特別委員会

- 7月20日 特別委員会の進め方について
- 8月18日 特別委員会の工程スケジュールについて
- 先進地視察及び学識経験者による講演会について
- 10月7日 先進地視察について
- ▽図書室運営委員会
- 10月7日 図書申し込みについて
- ▽議会だより編集委員会
- 9月22日 議会だより第21号の発行について
- 10月7日 議会だより第21号の発行について

寄附禁止のルール

- 政治家の寄附は禁止！
- 有権者が政治家に寄附を求めることも禁止！

例えば、こんなことは禁止されています

- お歳暮やお年賀など
- 会費制でない会合での支払い
- お祭りの際などに寄附や差し入れを求めること
- 町内会の集会や旅行会などの催物への寸志や飲食物などの提供
- 入学祝・卒業祝
- 病気見舞い
- 落成式・開店祝いや葬式の花輪・供花
- 結婚祝、香典(政治家本人が出席しない場合は罰則の対象)
- 選挙区内の人への年賀状や暑中見舞い

開11月の定例会は  
会予定日(月)は

本会議の傍聴を希望される方は、市役所本庁舎3階の傍聴者受付で、住所及び氏名をご記入の上、傍聴券を受け取り、傍聴席に入場してください。傍聴席は56席(車いす傍聴席2席含む)です。

本会議は、通常午前10時から開催されます。

【おわびと訂正】

かすかべ議会だより第20号の中で、次のとおり誤りがありました。おわびして訂正します。

13ページ1段目の答弁者名

誤：「健康保険担当部長」→ 正：「福祉健康部長」

## 市議会ホームページのご案内

市議会のホームページでは、議員名簿、一般質問発言通告一覧表などを掲載しています。

また、市議会本会議の会議録(平成17年10月以降)の閲覧・検索ができ、インターネット議会中継では本会議の生中継や録画中継(平成20年12月定例会以降)で、議会の様子をご覧いただけます。録画中継は、「会議名」「議員名」「会派名」「用語」によって検索し、目的の中継を探すことができます。

なお、情報の更新は随時行いますが、会議録については、定例会終了後、次回定例会の開催までに更新しています。



春日部市議会

検索

## 鳴島 武 議員が逝去



鳴島議員は、平成22年9月22日、市議会議員在職中に逝去されました。享年70歳。鳴島議員は、昭和57年に旧庄和町議会議員に初当選し、

平成6、7、12年には町議会議長に就任されました。また、合併後の春日部市議会では、平成20年に厚生福祉委員長、平成21年に市議会副議長に就任され、長きにわたり町政、市政の発展に尽力されました。生前のご功績をしのび、心よりご冥福をお祈り申し上げます。

合 計	今定例会傍聴状況											
	17	15	14	10	8	9/7	31	30	27	26	8/23	月日
178	1	29	48	40	14	35	1	4	1	0	5	傍聴者数
	討論・採決	一般質問	一般質問	一般質問	一般質問	一般質問	質 疑	質 疑	質 疑	質 疑	上程・説明	主な日程

## 傍聴して一言

新人議員さんの一般質問を聴けました。とても身近な事柄についてでしたので、しっかりと聴きました。

春日部市がさまざまな分野においても、より発展するよう、今後も市民の1人として傍聴は欠かせないのではと思います。

女性59歳

暑いのに傍聴者の多いことに驚きました。今まで3回ほど寄らせていただいた中、最高の傍聴者数に驚き、市民の関心が高まっているとうれしく思いました。

議員さん一人一人の全力の取り組みを、今後期待します。

女性52歳

なぜ質問者が執行部側に向かないのか違和感を持ちます。質問は議員にしているのではないので、一問一答を含め、検討されたいと思います。

男性60歳

はつきり大きな声で話していただきたい。特に答弁です。専門用語も多いので、傍聴者(市民)のことも考えて話していただきたいと思います。

女性60歳

各議員が多面的な角度より質問をしていたと思います。おのおのの議題につき、執行側は誠心誠意な取り組みを期待します。より良い街づくりに向け、前進を。

男性60歳

※割愛させていただいた部分もあります。

## 編集後記

秋の深まりを感じる今日このごろ、めっきりと涼しくなってきた感じがしますが、皆さまいかがお過ごしでしょうか。

9月定例会では平成21年度決算について審議が行われました。大変厳しい財政状況ですが、市民サービスの向上を目指し、充実した施策が展開されるよう、全力で取り組んでまいります。

市民の皆さまの秋も、実りの多いものでありますようにお祈りしています。

### 議会だより編集委員会

- 委員長 中川 朗
- 副委員長 大野とし子
- 委員 佐藤 一
- 委員 金子 進
- 委員 渡辺 浩美
- 委員 栄 寛美
- 委員 荒木 洋美
- 委員 鈴木 保
- オプザーバー
- 議長 会田 幸一
- 副議長 五十嵐みどり

〒344-8577  
埼玉県春日部市中央6丁目2番地  
春日部市議会

TEL 048-736-1111(代表)

内線3116